

源兵衛川「世界水遺産」登録の意義と  
「世界文化遺産」登録への挑戦



NPO法人グラウンドワーク三島 専務理事 渡辺 豊博

Mar.19.2018

A Partnered Management and  
Restoration System of the  
Genbegawa Irrigation Canal

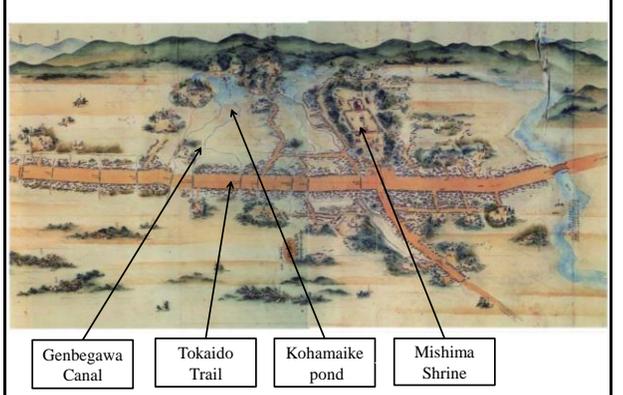


NPO Groundwork Mishima  
CEO : Toyohiro WATANABE

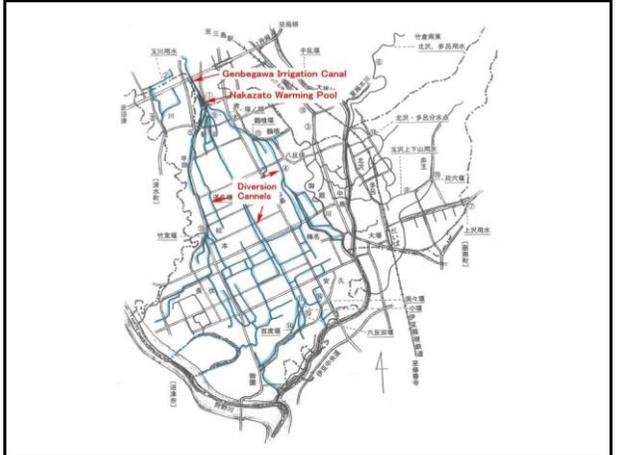
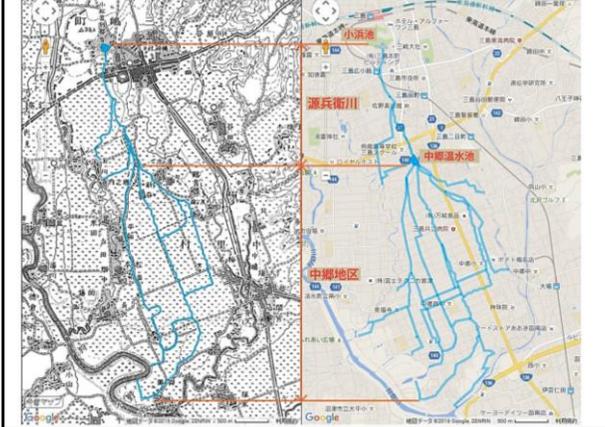
Location

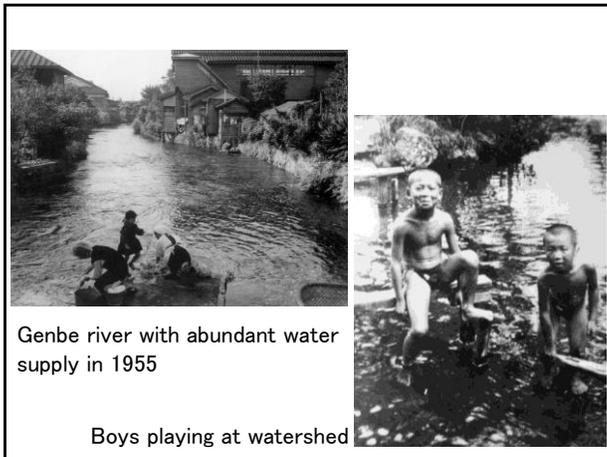


Mishima in old days (200-300 years ago)



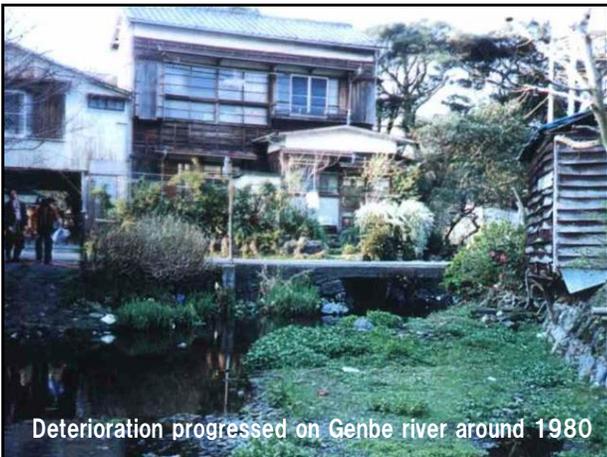
(Left) Nakazato district 1894-1915 : (Right) Ditto 2016



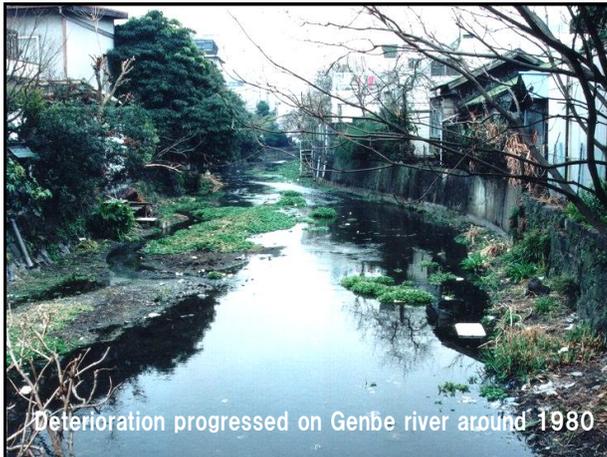


Genbe river with abundant water supply in 1955

Boys playing at watershed



Deterioration progressed on Genbe river around 1980



Deterioration progressed on Genbe river around 1980

**Network system through the mediation of "Groundwork Mishima"**

**Citizens** Work at sight in cooperation

**Business** Give citizens its specialty & equipment

**Government** Support them with fund, rules and supply

**Groundwork Mishima**

Mediate them with its knowledge and experience



**Countless discussion held to improve the environment**



**The result of citizen's effort**



Genbe river during 1960-89

Scenery of the same place since 1990

Fireflies come back to the river



Children playing in Genbe river

Luxuriant growth of MIsima-baikamo (aqua plant in red list, recent scenery)



MIsima-baikamo  
(aqua plant in red list, recent scenery)



On-site training for children, searching water creatures (recent scenery)

Activity eliminating exotic species (recent scenery)



三島市における環境をめぐる  
市民活動の閉塞状況

- ・ 変わり果てた「水の都・三島」の水辺自然環境への諦めの気持ちが蔓延
- ・ 各地域主体の利害優先でバラバラな市民・NPO・行政・企業の関係
- ・ 市民は行政、政治への依存、甘えの体質
- ・ NPOは自己主張するばかりで、大局観と協調性を欠如
- ・ 行政は独断的で補助金依存・住民不在の事業運営
- ・ 企業は利益優先の姿勢で地域貢献意識は希薄



### 英国グラウンドワークの特性

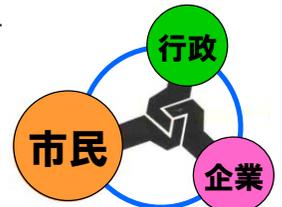
- ① 対等・平等な地域主体間のパートナーシップの形成
- ② 地域を代表し、コーディネート機能を持つトラスト組織の存在
- ③ 現場での実践を重視
- ④ 地域コミュニティの自律的能力の向上
- ⑤ 企業の社会参加と社会貢献活動の場の提供

### 課題解決にむけ 新たな社会的メカニズムを提起

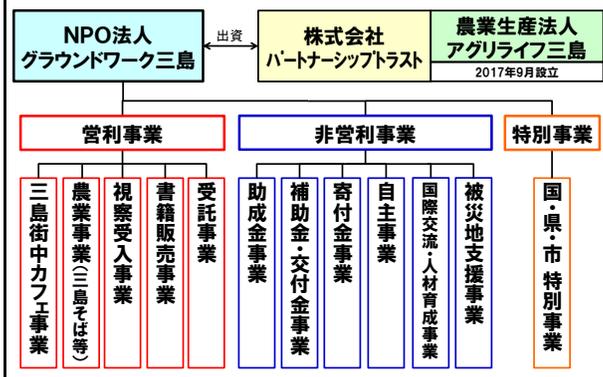
- ① 住民・企業・行政のパートナーシップによる相乗効果の威力を提示
- ② 市民団体間の共存共栄の相互補完のシステムを構築
- ③ 身近な環境再生活動を中心としたアクションプランの策定
- ④ コーディネート組織の態勢を整備

### グラウンドワーク三島のシステム

- ・ **市民**・・・現場で汗を流す  
市民力・地域力を結集
- ・ **企業**・・・協力する  
専門性を発揮、資機材提供
- ・ **行政**・・・支援する  
資金援助・制度的支援・物的支援
- ・ **グラウンドワーク三島**・・・調整・仲介する  
中立的・専門的な支援と役割



### 推進体制



### 源兵衛川における環境再生の実践とその成果

#### 源兵衛川の歴史

- ・ 室町時代に開削
- ・ 自然型の開水路であり、動植物が豊富で自然の多様性に優れている
- ・ 楽寿園小浜池からの湧水が用水源、延長1.5kmの普通河川
- ・ 管理主体者は「中郷用土地改良区」、下流11集落・142戸が受益地

## 源兵衛川の位置図



## 河川環境悪化の理由

- ・ 1955年以降、地下水の汲み上げ等により川や湧水池から湧水量が減少した
- ・ 1964年以降、農業用水の補給用水として、企業からの余剰水を1時間当たり1,200トンを、源兵衛川に放流してもらうシステムが確立した
- ・ しかし、湧水が減少する冬期(非かんがい期)は企業からの余剰水の放流が1時間当たり200トンに減少すること等により、源兵衛川の水辺環境の悪化が進行した

川沿いの民家からの雑排水の垂れ流しやゴミの放棄が進み、水辺環境が悪化

中郷用土地改良区と市民との対立が激化、維持管理費の高騰、負担金増加

源兵衛川が、水の都・三島の『宝物』から『厄介者・恥の川』に市民意識が変容



## 親水計画づくりへのさまざまな視点

1. 計画地域が持つ魅力を発見する(地域の宝さがし)の視点
2. 川の自然を再生する「近自然・多自然工法」の活用の視点
3. 「水辺づくり」から「地域づくり」への市民組織の誘導

## 計画の基本理念

1. 湧水網都市・水辺・水緑・ネットワークづくりの推進
2. 「都市と農村を結ぶ水のみち」の創設

計画地域の雰囲気 matches ザーニング

- |            |            |
|------------|------------|
| ① 水の誕生ゾーン  | ② 水の散歩道ゾーン |
| ③ 水と思い出ゾーン | ④ 水と出会いゾーン |
| ⑤ 水と文化ゾーン  | ⑥ 水と暮らしゾーン |
| ⑦ 水と農業ゾーン  | ⑧ 水と生命ゾーン  |



② ゾーン「水の散歩道」



## 源兵衛川水辺再生への多様なアプローチ

### 専門家との協働

三島の地域特性の尊重、住民の意見や提案の排除、画一化や均一化への危惧

### 専門家集団の結成

設計者グループ	生態系アドバイザーグループ
建築・土木・造園・意匠デザイナー等10名で構成	高等植物・鳥類・淡水魚類・水生昆虫類・トンボ・植生森林等15名で構成
住民意識調査	自然環境調査
計画づくりへの住民参加を誘導させた	環境再生重視の市民提案を設計条件に反映させた

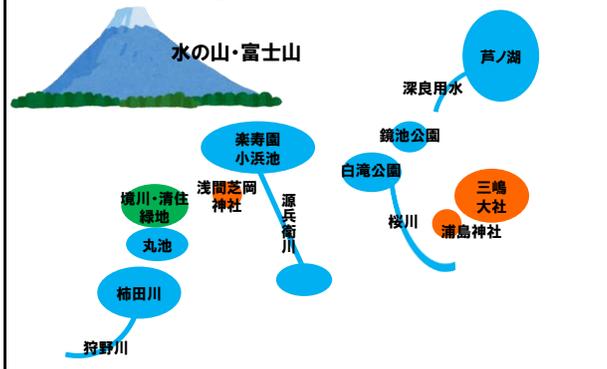
## 成功要因の分析

1. 文化的・歴史的・環境的な地域特性の把握と専門的知識をベースにした、現場情報の提供による200回以上もの「住民説明会」の開催
2. 三島ゆうすい会を基軸にしたネットワーク型の市民活動の持続的展開
3. 三島市民の愛郷心と水の街への誇りの喚起
4. 地域住民や町内会、地域企業、行政等を巻き込んだ「地域総参加」の手法
5. 英国グラウンドワーク連合体からの国際的な認知と連携

## 新たなる公共事業のスタイルの構築に成功

1. 整備の原則が見事に具現化して計画通りに機能している
2. 川で遊ぶ子供達(水飢鬼指数)が増加している
3. 生態系の再生と復元が実現している
4. 地域住民による川の主体的な維持管理と環境美化が実践されている
5. ゴミの放置がほとんどない美しい水辺環境が維持保全されている
6. 観光資源としての活用がなされ散策する観光客が増加している

## 「世界文化遺産」登録への挑戦 水の文化と歴史のネットワーク



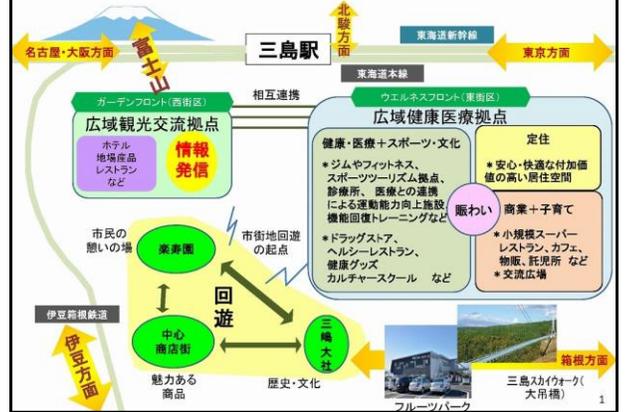
## 三島駅南口再開発整備区域図



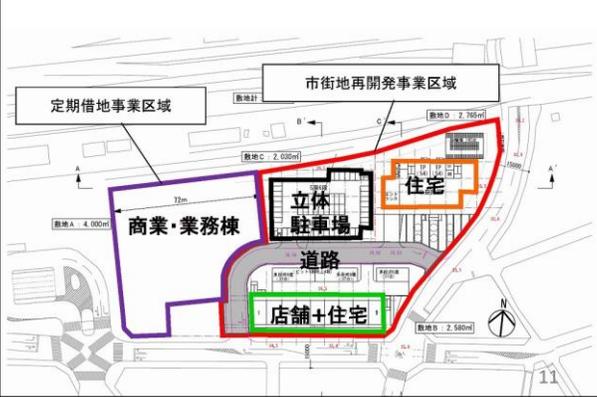
# 三島駅南口東街区市街地整備事業 開発構想



# 開発のコンセプトイメージ

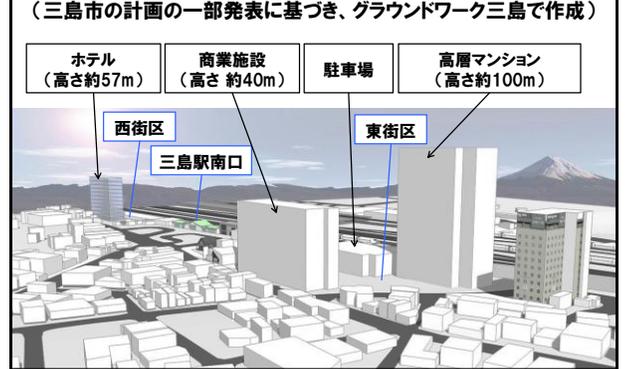


# 東街区 モデル案(平面図)

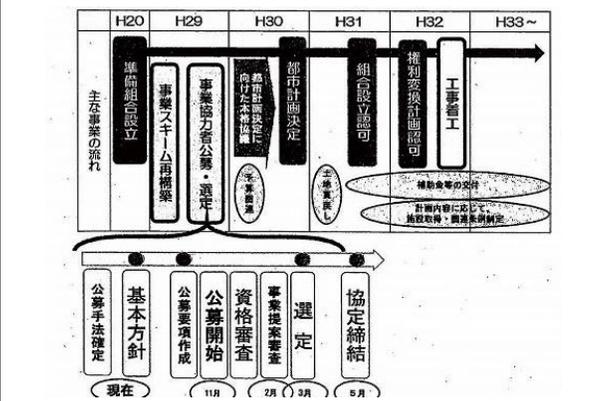


# 三島市による三島駅南口再開発の「完成予想図」

(三島市の計画の一部発表に基づき、グラウンドワーク三島で作成)



# 予定スケジュール(事業協力者公募の流れ)



### 最優秀提案者

- ・アスマチ三島プロジェクト共同企業体  
(代表企業 ミサワホーム(株))

### 構成企業

- ・(株)ミサワホーム静岡、東レ建設(株)、野村不動産(株)、  
三菱地所レジデンス(株)、(株)アール・アイ・エー

### 今後の予定及び留意点等

- ・事業協力者は三島駅南口東街区市街地再開発準備  
組合・企業体との協議を経て決定(5月予定)
- ・協議により、最優秀提案者以外の提案者が事業協力  
者となる場合もあります。

### 選定審査会

#### 審査員

大川 澄人(会長)

ANAホールディングス(株)常勤監査役(まちづくり全般・経済)

○高見沢 実

横浜国立大学大学院教授(都市計画・建築)

木戸 恒男

(一社)再開発コーディネーター協会顧問(再開発)

○坂井 文

東京都市大学教授(都市計画・公共空間・エリアマネジメント)

### 審査結果

審査項目(配点)	1位	2位	3位	4位	4位
①事業への取り組み(10)	10	10	4	6	6
②開発コンセプト(10)	10	10	6	6	6
③土地利用(10)	8	8	4	4	4
④事業計画(10)	6	8	6	6	6
⑤施設計画(20)	20	16	12	12	12
⑥事業推進体制(30)	24	24	18	18	18
⑦経済条件(30)	6	6	(30)	6	6
⑧にぎわい創出(30)	24	24	12	12	12
合計(150)	108	106	92	70	70



### 施設概要

規模 西:商業棟、4F、③、107㎡、北:ホテル・住宅棟、24F、約100室・194戸  
南:商業・住宅棟、13F、88戸、東:駐車場棟、7F、商業333台、住宅293台  
※最大高さ 99.5m

導入機能 医療関連機関、健診センター、温浴健康ゾーン、スポーツジム、  
フードマーケット、クッキングスタジオ、コワーキングスペース、  
ラウンジレストラン、サイクルステーション、ホテル

駐車場 駅・商業利用者用駐車場333台(市取得)、住宅用駐車場293台  
景観 三島の水景や緑と連携した親水拠点、地域散策の拠点となる施設整備

地下水・湧水保全 地下水、湧水を第一に考えた施設計画  
・全て直接基礎・通水口設置 ※高層棟:中間免震採用  
・地下水のくみ上げは行わない  
・地下水の状態を常に監視

にぎわいの創出 商業ゾーンの管理運営も担うエリアマネジメント組織を確立  
周辺地域の老朽不動産の利活用・連携等を目指す

### 審査員の評価(抜粋)

- ・地質構造を理解し、地下水・湧水に配慮した建物配置と基礎計画になっている。
  - ・水と緑の段上テラスなど景観に配慮した設計デザインである。
  - ・周囲との一体的なまちづくりや回遊性を向上させる動線となっている。
  - ・「健康増進・スポーツ」「にぎわい・食」などをテーマに、スマートウェルネスの拠点に相応しい多様な機能の提案である。
- ☆権利者との合意形成を見据え、権利変換率のより一層の向上に努めること。
- ☆より広範囲のエリアを見据えたにぎわい創出の努力をしてほしい。

なぜそんなに  
公募を急ぐのか？  
1年先では  
ダメなのか？

三島市がいくら  
お金をかけるのか？

総事業費  
220億円

### 総事業費収入内訳

項目	金額(億円)
一般財源	10
市債	51
市補助金	30
県補助金	15
国補助金	45
事業資金	69
合計	220億円

### 東街区再開発の財政計画上の市負担額

項目	金額(億円)
一般財源	10
起債	27
起債	7
起債	17
合計 ※借金の総額	61億円

30年間かけて  
投資（借金）した  
61億円を  
回収する計画

事業を進めれば  
三島市は  
**財政破綻！**

- 他にも問題だらけ
- 地下水への悪影響
  - 富士山の景観阻害
  - 市民合意不足
  - 市民サービスの低下

今後の公共施設の維持  
管理改修費には  
830億円が必要！  
また、市役所本館建設  
費用80億円が必要！

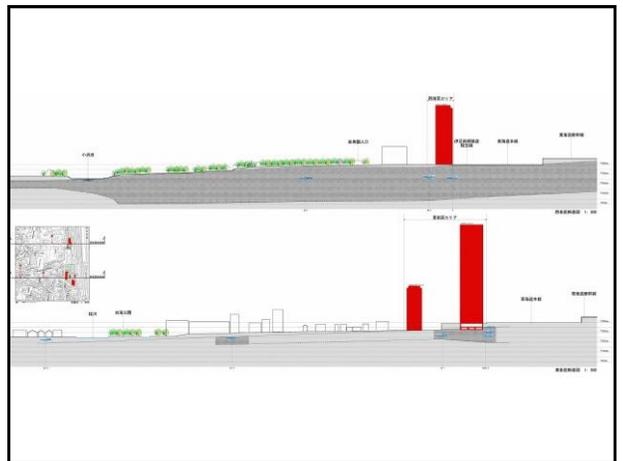
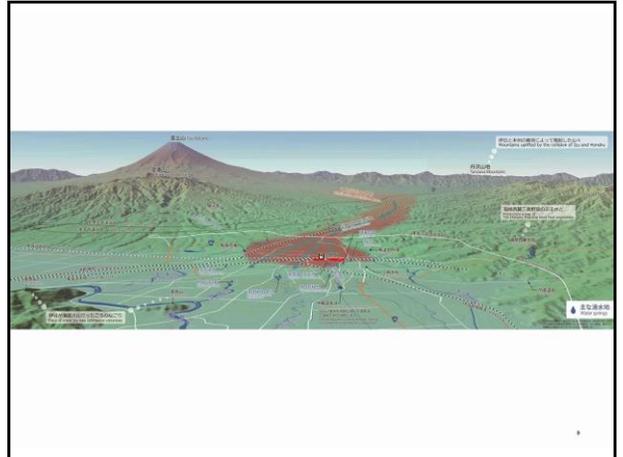
<図表 2-4 公共施設更新費用の推計結果（30年間）>



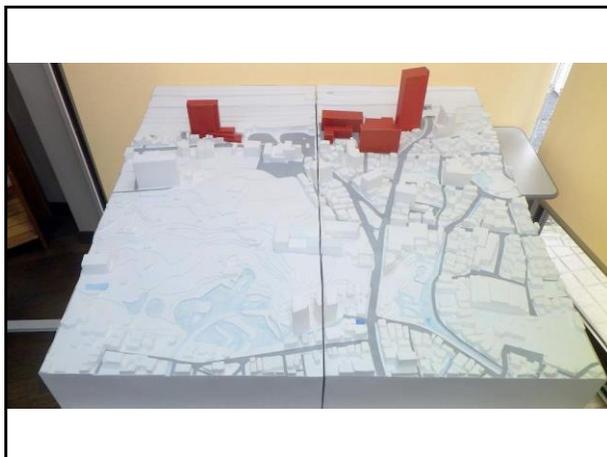
今のままの  
駐車場にしておけば  
30年間で  
45億の収入

## 湧水消滅への危機

源兵衛川、菰池公園、白滝公園、桜川、御殿川等の湧水消滅の懸念拡大



**「水の街・三島」の  
魅力と品格を毀損  
富士山の眺望が  
阻害される心配**



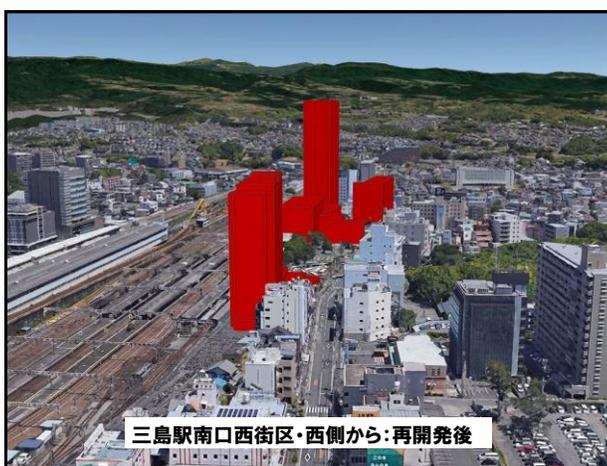
三島駅南口全体:現状



三島駅南口全体:再開発後



三島駅南口西街区・西側から:現状



三島駅南口西街区・西側から:再開発後



三島市立公園楽寿園正門前：現状



三島市立公園楽寿園正門前：再開発後



三島市立公園楽寿園



三嶋大社

三島駅南口東街区再開発事業の「公募」を即延期に!!

**66億円もの財政負担を伴う再開発事業を止める署名活動にご協力ください**

平成29年11月から「公募」が実施される「駅前広場再開発事業」が延期されると、南口には、暫らくは緑豊かな「駅前広場」が残り、市民の皆さまは、この事業を歓迎・希望されています。公募期間中、本事業の再開発計画が変更されていることが、市民の皆様から寄せられているので、多額の財政負担を伴う再開発事業は、市民の皆様が望んでいない、再開発が望まれないと判断されています。公募期間中、市民の皆様から寄せられている署名活動は、再開発事業の延期・中止を促す重要な役割を果たしています。市民の皆様から寄せられている署名活動は、再開発事業の延期・中止を促す重要な役割を果たしています。市民の皆様から寄せられている署名活動は、再開発事業の延期・中止を促す重要な役割を果たしています。

署名活動は署名数1万人を目指しています。

【署名の活用】 署名の活用は再開発事業の延期・中止を促す重要な役割を果たしています。署名活動は署名数1万人を目指しています。

【署名】 〒411-0027 静岡県三島市東区南口東街区2丁目2番2号 TEL: 055-463-5239 FAX: 055-473-0022

【問合せ】 〒411-0027 静岡県三島市東区南口東街区2丁目2番2号 TEL: 055-463-5239 FAX: 055-473-0022

**「水の街・三島」創生の基本コンセプト**

**1. 回遊性のある「湧水網都市」づくり**

- 御殿川「水の文化散歩道・水と緑のネットワーク」
- 浅間神社「水の杜・緑の杜」
- 大場地区「健幸フロンティアタウン大場」

**2. 伊豆セントラルパーク整備構想の策定と提案**

- 富士山・伊豆地域世界遺産ビジターセンター
- 水と緑の伊豆コミュニティ・イベント広場の整備
- 県文化の森サテライトホール・劇団四季常設ホールの開設
- 三島市役所・図書館・子育てセンター・専門学校等の誘致

